

千勝神社建設記念碑

当神社は猿田彦大神を奉祀し大正四年十一月水戸市下市 青柳家の当主青柳□男氏が現在の下妻市坂井に鎮座する千勝神社分霊を此の地に勧請鎮祭し奉ったものである

青柳家における千勝神社の崇敬は極めて深く 当家鎮護の神としてこの地にその御霊を奉祀し毎年春夏秋冬の季を定めて祭儀厳しく地域住民と共に神明奉仕の議を捧げてきた また 青柳家はこの六ツ野の地に土地を有すること百余町歩にわたり この維持管理等地区住民との折衝浅からぬものあり

当主青柳幸太郎氏の代において昭和二十一年自作農創設特別措置法の施行に伴い 従来耕地等 政府の買収するところとなりぬ

そこで神社の運営ならびに維持に関し深く勘考されるところがあり これを地区住民の手に委ねられることに意を決せられた

地区住民一同奉杖の喜びを得るとともに青柳家の好意に深く感ずるところがあった
青柳てる氏の代昭和三十九年二月を以って知事の承認を受け宗教法人千勝神社を創祀した

当社の本社である下妻市千勝神社の創建は 第二十五代武烈天皇の壬午の歳（五〇二年）の古い社である

また 御祭神猿田彦大神は古事記 日本書紀に明らかなとおり 天孫降臨に際し 上は高天原を照らし下は豊葦原瑞穂の国を照らしてこれを迎え奉った神である

御神徳は家庭円満 諸願成就 みちびきの神として崇められている

今度 本殿 拝殿を新築しならびに参道を整備する等事業の完了を待って記念碑を建て永く後世に伝えるものである

平成十五年十二月六日